



全労生・事務局長
(基幹労連・特別役員)

西澤 昇治郎

るが、あらためてその開催の目的やねらい、特徴等について述べていきたい。

全労生は2009年の50周年宣言の際にガイドライン(運動展開

の体現へ、労使の建設的協議と実践を」と定め、活動計画の着実な実施と実効性を高め、運動の発展をはかることとしている。本中央委員会・中央討論集会

や生産性問題などについて、参加者が各構成組織の枠を超えて討論し、相互理解を深め今後の実践に結びつくアプローチや示唆を得られるよう企画、実施し

るなど全員参加の活発な議論展開が行えるよう工夫している。そして今回、約80人の仲間

の熱心な議論を経て明らかになった課題や出された建設的意見は、

「発展のための原点回帰の生産性運動」の 実践に向けて

中央委員会・中央討論集会を開催

の指針)をまとめ、その指針に沿った運動・諸活動を展開し4年目を迎えている。本年度は年間活動統一テーマを「発展のための原点

は、この目的に基づく活動の一環として開催したものである。

中央討論集会では、全労生の専門部会などで取り組むテーマや成果を中心に、労働組合が現在直面する諸課題

具体的には、講演、特別報告、分科会討論、分科会報告・全体討議で構成し、分科会討論は、三つのテーマ別に

幹事会はもとより専門部会・委員会の中で整理し、今後の全労生生活の展開に反映させていくこととしている。

た。その概要は11月15日号の本紙1面に記載されているので割愛す

るが、あらためてその開催の目的やねらい、特徴等について述べていきたい。

全労生は2009年の50周年宣言の際にガイドライン(運動展開

の体現へ、労使の建設的協議と実践を」と定め、活動計画の着実な実施と実効性を高め、運動の発展をはかることとしている。本中央委員会・中央討論集会

や生産性問題などについて、参加者が各構成組織の枠を超えて討論し、相互理解を深め今後の実践に結びつくアプローチや示唆を得られるよう企画、実施し

るなど全員参加の活発な議論展開が行えるよう工夫している。そして今回、約80人の仲間

の熱心な議論を経て明らかになった課題や出された建設的意見は、

具体的には、講演、特別報告、分科会討論、分科会報告・全体討議で構成し、分科会討論は、三つのテーマ別に

幹事会はもとより専門部会・委員会の中で整理し、今後の全労生生活の展開に反映させていくこととしている。

今後とも皆様のご理解とご協力、そして積極的参加をお願い申し上げます。